

～すべての人に健康と福祉を～



はじめに

健康と福祉は、私たちの生活と切っても切り離せないものである。健康とは「肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること」(日本 WHO 協会)である。また、福祉とは幸福に生きることであり、一般的な生活問題の解決を目指す取り組みのことも指す。どちらも特別なことではなく、誰でも各人の自己実現を目指すことができるという考え方に基づいている。今日ではすべての人に健康と福祉を行き渡らせるためにどのような活動がなされているのだろうか。ここでは、健康と福祉に関する職業を紹介する。

健康と福祉に関する職業

健康と福祉に関する職業の一部として次の職業を挙げる。

1. 介護福祉士：入浴・食事の世話など、生活面の介護や指導を行う。
2. 社会福祉士：保護や援助を必要とする人のアドバイザー。
3. 心理カウンセラー：心のケアが必要な悩みを抱えた人の精神的自立を助ける。
4. 精神保健福祉士：精神科の入院患者の社会復帰をサポートする
5. 手話通訳士：聴覚障がい者と健常者の対話をサポートする。
6. 点字通訳者：書物や文献の文字を点字に直す。
7. 訪問介護員：家庭に派遣され、家事を代行する。
8. 医療ソーシャルワーカー：患者が社会復帰するための援助・助言をする。
9. 生活指導員：福祉施設に勤務し、施設利用者の生活全般を支援する。

おわりに

健康と福祉に関する職業はここで挙げた他に多くある。興味がある方は是非調べてもらいたい。さて、健康と福祉は何もそれらの職業に従事しなければ貢献できないというわけではない。個々人の意識が第一に重要なのである。一人一人が問題に関心を持ち、社会に貢献する姿勢を持ち続けていきたいものだ。

参考文献

公益社団法人 日本WHO協会「健康の定義」
スタディサプリ「福祉関係の仕事がしたい」